

# 井戸端だより

第53号

発行日：2006.3.27

発行：くらしの学習会

## もくじ



1例会(総会)報告	.....	1
2月例会報告	.....	2
3月例会報告 出会い塾①	.....	3
出会い塾②簡単ポーランド講座	.....	4
愛媛新聞より～生物の宝庫 東温・三ヶ村泉～	.....	6
ポーランドのお話、午後の部	.....	7
歌集 心の叫び	.....	9
愛媛新聞より～市議会～	.....	11
明日の神話と対面	.....	12
愛媛新聞より～明日の神話～	.....	12
愛媛新聞より～黒船としての岡本太郎～	.....	13
読者からのたより	.....	14
愛媛新聞より～坊っちゃん劇場～	.....	14
編集後記	.....	15



# 1月例会(総会)報告

平成 18 年 1 月 7 日 (土) 11:00～ 林宅

総 会 : 会計報告・今年度の行動計画 (案)

☆高須賀市長との懇談会を今年こそ実行したい。

☆重信川の散策 (国土交通省が教えてくれたウマノスズクサの自生地や、くらしの学習会の会員が植えた場所を見て回り、ジャコウアゲハの観察も合わせて行う。

☆絵はがきの活用方法 (販売も含めて) を考える。

お正月気分がまだ抜けきれない 7 日の総会は、参加者が少なく、すぐ、持ち寄りの昼食をとりながらの雑談になってしまいましたが、林さんのご主人も加わって下さり、中身のあつた話が出来ました。

・年末から今年にかけての異常気象と温暖化のしくみ。

・中国は今農産物の輸出をしているが、国内の生活レベルが上がり、それらを国内で消費するようになると、輸入に頼っている日本は、食糧不足が起きて来る。

・一年おきに一泊旅行を続けて 6 回目になる小学校の同級会の話 (k さん) から、それぞれの幼な友だちやふるさとの思い出話。

・情報化社会について。

・アンケート調査のこと。

等等、話は尽きませんでした。

## 会計報告 2005.1～12月

### 収入の部 (円)

会費	28000
蝶絵葉書売り上げより返金	20000
利子	2
前年度繰越金	160172
	<u>208174</u>

### 支出の部 (円)

用紙代	4416
切手代	12170
50号記念会誌	32000
コピー代	20
宛名シール	672
封筒	696
保険料2回	2000
ガソリン代	5591
高速道路	3750
出会い塾講師	2000
蝶のくる庭寄贈	1260
ゴム印	277.2
蝶絵葉書仮払い	100000
	<u>167347</u>

208174-167347=40827 (円)次年度繰越金)

## 2月例会報告

2月6日（月）10：00～ 林宅

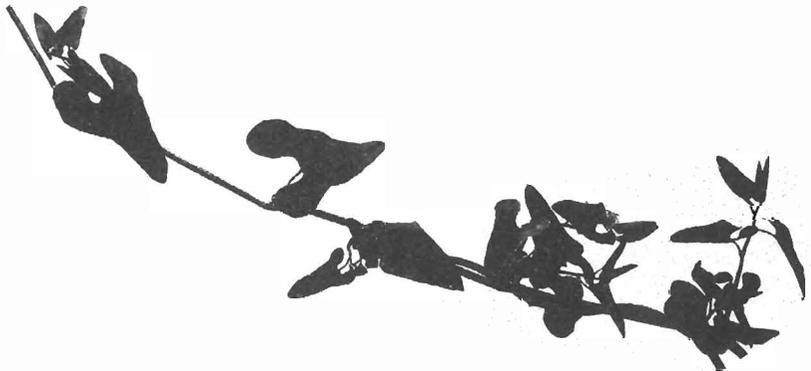
寒い時期にも拘わらず8名が参加。久しぶりの顔合せの方もいて、林さんの手作りのケーキと紅茶をいただきながら、話は盛り上がりました。

ジャコウアゲハの絵はがきのパネルに撮影場所を入れた方が良い、と言う外部からのアドバイスもあり、頭をつき合わせて皆で試案。忽ちカラー画用紙、マジック、のり、鋏が揃い、ああでもないこうでもない・・・の結果、ウマノスズクサの葉っぱの形をした黄緑色の用紙に重信川上村大橋付近と書いたものをパネルに貼り付けることにしました。

暖かくなり蝶の季節にもなるので、ジャコウアゲハの保護のために自然再生支援活動を広く知ってもらい、また、販売も目的に更にパネルやチラシを作り、コープえひめにもあたってみよう。（早速実現しました）

### 3月現在絵はがきのパネルの掲示場所

フジゆるぎの郵便局、重信郵便局、伊予銀行横河原支店、  
東温市役所、東温市中央公民館、いagara児童館、  
かすみの森公園の公衆トイレ（準備中）  
丸三書店本店・重信店（一部350円で販売）  
コープえひめ東支所・コープえひめ東温地区の4台のトラックに展示中  
（チラシを付けて）



## 3月例会報告 出会い塾①

2月22日に3月例会を兼ねての出会い塾を林宅で行いました。今回は、ポーランドの方との出会いでした。愛大医学部に留学中のセバスチャンという方でした。温和そうな好感のもてる青年でした。

彼は、自分のノートパソコンにポーランドの紹介用資料を入れて、聞きかぎりの私たちの欲求を満たすべく、それを駆使して話を進めてくれました。話だけでは遠い国を想像するのが苦手な私は、パソコンに映し出される映像のおかげでポーランドが身近に感じられました。ポーランドの国土は日本とほぼ同じ、人口は3,800万人日本の約3分の1です。首都はワルシャワ。気候は日本の東北地方と似ているということです。6月～9月まで水泳可能ということですが、気温が17～18度と聞き驚きました。日本では4月の気温です。とたんに”寒いね”という声が飛び交いました。9月～10月のポーランドは太陽がきれいにみえ、暖かい日が続くので“金の秋”と呼ばれているそうです。日本に限らず過ごしやすい日々は多くないようです。

ポーランドの歴史についても話を聞きました。ドイツとロシアにはさまれたこの国は、両国の干渉を受け続けた歴史を持っています。今もなおその面影があちこちに見られるといいます。ワルシャワにある宮殿は友好の印にとロシアから贈られたものです。ところが、モスクワにも同じような宮殿があるので、ポーランドの人々はそれを見るたびにロシアの圧力を感じているということです。又、ポーランドの各地にある城は、ドイツの城の様式と同じで、ポーランドの人々はこれらの建物を両国の政治的干渉時代の象徴とみているのだそうです。祭りにも歴史背景の濃いものがあります。1410年ポーランドはドイツと戦争しました。これに勝利したポーランドは勝利を祝った祭りを毎年、おこなっています。ポーランド兵とドイツ兵に扮した人々が街を練り歩くのだそうです。もちろんドイツ兵もポーランドの人が扮しているのでしょうね。この映像は残念ながらありませんでした。

彼から質問がありました。ポーランド人で有名な人を知っていますか？という質問です。ショパン、と言った人がいて、またキュリー婦人と声が上がりました。でも、それからができません。彼が教えてくれ

ました。ワレサ議長、コペルニクス、ヨハネパウロ二世もポーランド人でした。

料理の話になりました。一気に主婦の目が輝きます。ポーランドの主食はパンとジャガイモです。ピゴスというスープがとても美味しいと彼は言います。数日間炒めて、寝かすをくり返し、手間暇をかけて作る酸味のあるスープだそうです。料理全般に日本人は甘みを好み、ポーランド人は酸味を好むというのが彼の意見です。

私は出会い塾に参加すると、まだ行ったことのない国にとっても興味が湧きます。その国の人と直接、話ができるということ～しかも日本語で～は少なからずお互いを理解し合うのもってこいの機会です。後日、その国のことを見たり聞いたりしたときにも、出会い塾で会った方の顔が浮かび、良い情報は喜び不幸な情報は残念に思うのです。この機会は、くらしの学習会に関わっている人なら誰でも参加できます。まだ参加したことのない会員の方、次回はご一緒しませんか？

まだまだポーランドの話は続くのですが、私は残念ながら席を立たなければいけないので、後半は別の会員に託します。

(R・D)

## 出会い塾一② 簡単ポーランド語講座

出会い塾後半は、セバスチャンさんがポーランド語の先生になってレッスンをしてくれました。

ポーランド語にはアルファベットが 32 字あります。発音は複雑で覚えるのは極めて大変そうでした。実際、挨拶を覚えるだけでも、大変でした。ジェネー・ドプレ (おはよう、こんにちは は同じ言葉です)、ジェンクーヤン・バルズ (ありがとうございます)、シェプラツシャム (すみません) このたった三つの挨拶を覚えるのに参加者全員四苦八苦しました。

挨拶の後は歌で、日本人にも馴染みのあるメロディー(「森へゆきましょう、

娘さん」のメロディー)の歌を、歌詞の意味は多少違いますが、ポーランド語で歌おうということを試みました。数回練習しました。最後まで上手に発音はできませんでしたが、それらしくまねをして何とか歌い通しました。メロディーを知っているということはすごいことです。ハミングでごまかすこともできるのですから。それにしてもこの歌がポーランドの歌だとは知りませんでした。まだ初期の頃の出会い塾で中国から来た人の話を聞いたことがありました。やはり歌を中国語で歌おうということになって「きらきら星」を歌ったことがありましたが、歌は国や言葉に関係なく交流を容易にしてくれる潤滑剤だと再認識しました。

最後に、ポーランドでは不用意に日本語で「だいじょうぶ」と言わないほうがいいと注意を受けました。なんとポーランド語では、ダイジョウブは“Kiss me!”という意味だそうです。みんなが持ち寄ったおいしい食事をとりながら、ポーランドの写真を見たりと話を聞いたり、歌をうたったりと、とても贅沢な時間を過ごしたような気がしました。

人間的にも魅力的なセバスチャンさんとの別れは寂しいことですが、知っている人が世界中にいるということは嬉しいことです。私は今年の夏、学会でドイツへ行く予定ですが、彼の勧めにしたがって、ポーランドにも足を延ばそうかと真剣に考えています。アウシュビッツのある国でもあるので、もし行けたらそちらも見たいと思っています。

(T・H)

Sebasti. Kloseh.

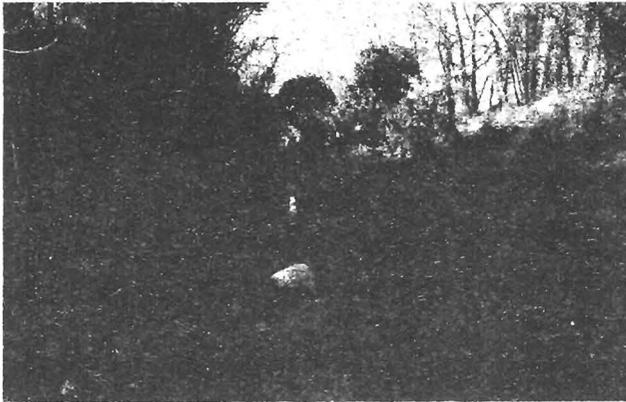
# 生物の宝庫 東温・三ヶ村泉

## 泉底掘削案に波紋



多数の希少生物が生息し、松山平野で最も多様なに富んだ生物相を誇る東温市田窪の三ヶ村(さんがむら)泉。近年、腐葉土の堆積(たいせき)などで湧水(ゆづい)が止まり、管理する土地改良区などから改修を求めぬ声が出ている。一方、研究者からは、改修が生態系バランスを崩すとして慎重な対応を求め意見も根強い。そんな中、両者が「事業検討委員会」の席に着き、懸案だった泉の未来についての議論をスタートさせた。

### 堆積土除去し枯渇防ぐ



清流がとうとうと流れ、貴重な自然が残されている三ヶ村泉—東温市田窪

### 管理者側提案

三ヶ村泉は約二百五十年前、当時の農民が自費で農業用水用として建設。現在、市の三つの土地改良区、約四百年帯が農業用水などに利用、管理している。

周囲にはクヌギなど豊かな雑木林が茂り、水温が一定に保たれた泉には貴重な生物が生息。ハタベカンガレイといった水草類やオオカワトンボ、ヨツボシトンボなど、県

### 水草育たず生態系破壊

レッドデータブックなどに掲載される貴重な種も確認されている。

この泉の将来を考えたように、折しも二〇〇二年、土地改良法が改正され、「改良には環境との調和(へいご)を」との原則が盛り込まれた。国の補助金申請などの際にも、環境維持に最大限努める必要が生じたことで、泉の改修もできただけ環境を維持することが求められている。

先日の委員会では、司会を務めた桜井雄二愛媛大農学部教授(地域環境工学)は「現在の改良区側の提案では、合意は困難だろう。ただ、何つかの対策が必要」と存続に向けた歩みを進めることを提案した。

二百五十年にわたって受け継がれてきた「人と自然が共存できる松山平野の奇跡の泉」を、立場の違いを超えてどう存続させるのか。委員会の(か)取りが注目される。

これに対し、県レッドデータブック編集委員の東雲女子短大の松井宏光教授(植物社会学)は、改良区側の立場は十分尊重するとして上で「掘り下げ案では水草は根付かず、昆虫類も生息できなくなる」と危惧(きげん)。微妙なバランスに立つ泉の豊かな生態系の崩壊に危機感を募らせる。

県内に残る泉が道路改修やため池の整備などで減少するという現実がある中、農家の

### 研究者ら懸念

(社会部・野依伸彦)

## ポーランドのお話、午後の部

参加者心尽くしの持ち寄り料理を頂いた後、セバスチャン（ポーランド語では尊敬される人の意味）氏の故郷、ウッジ（首都ワルシャワより100km程西にあります）の話になりました。

森、湖が多くあり、200年程前王国だったポーランドは、現在より領地が大きく、あちらこちらにお城（現在公共施設として利用）があり、とても落ち着いたステキな町ようです。第一次・第二次世界大戦時ポーランドは、ロシア・ドイツに占領され戦争に翻弄された国でした。その時代の名残として、ロシアの飛地がバルト海沿でリトアニアとポーランドに挟まれた場所に今も存在しています。人々の生活、特に食に関して、ザワークラフトやピロシキ似の物が食され、占領下時代の影響が色濃く残っているように感じました。

私がポーランドをイメージした時、ホロコーストの象徴としてアウシュビッツ収容所が浮かんでしまいます。思い切って聞いてみました。「あのような大変な時期のことを国の皆さんは現在どう思っているのですか？」と。あの時代を生きた人達はドイツを良く思っていない人が居る。若者に関しては学校で学習はしているが、意識は薄れてきているようだとの返事でした。日本の若者と変わらないのかもしれない、が、日本の学校できちんと戦争について学習しているかと言ったら、どうでしょう？そのあたりの違いはあるのではないのでしょうか。

日本での生活については、日本のパンはフワフワ柔らかで、ヨーロッパ風のしっかりとしたパンが手に入りにくい。あちらでは冬場セントラルヒーティングになっているので帰宅しても暖かいが、日本では、寒くて困ったそうです。納豆も食べられるし、日本の食べ物は美味しいと言っていました。

質問コーナーの後、ポーランド語も教わりました。発音がとても難しかったです。まず、挨拶から（発音については自信無し）

おはよう・こんにちわ	Dzień dobry!	ジェニ・ドブレ
こんばんは	Dobry wieczór!	
さようなら	Do widzenia!	ドゥビ ゼニア
はじめまして	Bardzo mi miło	バルゾ ミ ミオ
ありがとうございます	Dziękuję bardzo	ジェンクエン バルゾ
すみません	Przepraszam	

歌も教わりました。さて、なんという歌でしょうか？

♪ Sdła dziewczeczka

Szła dziewczeczka do laseczka シェッ ジュベッカ ド ラシェチュカ

Do zielonego, ha, ha, ha, ド ジェレネゴ ハ ハ ハ

Do zielonego, ha, ha, ha, ”

Do zielonego. ”

Napotkała myśliweczka ナポティカソ メシウエッカ

Bardzo szwarnego, ha, ha, ha, バルゾ スワルネゴ ハ ハ ハ

Bardzo szwarnego, ha, ha, ha, ”

Bardzo szwarnego. ”

La, la, la, … ラララ…

獵師さんに会った とても元気

Myśliweczku, kochaneczku メシウエッカ コハネック

Bardzo ci rada, ha, ha, ha, バルゾム チ ラダ ハ ハ ハ

Bardzo ci rada, ha, ha, ha, ”

Bardzo ci rada. ”

好きな獵師さん あなたの事大好きです

Darabym ci chleba z masłem バクベム チ フラレバ デ マスエム

Alem go zjadla ha, ha, ha, アレム ゴ ジアドア ハ ハ ハ

Alem go zjadla ha, ha, ha, ”

Alem go zjadla. ”

あなたにパンとバターをあげたい でも、食べてしまった

この歌は私たちも良く知っています。森へ行きましょう娘さん ははは  
美しいあの森へ 僕らは木を切る 君達は ははは 草刈りの仕事しに  
ポーランドの歌詞はとても愉快ですね。

言葉と歌で盛り上がり、2時すぎお開きになりました。この会報が手元に  
届く頃、セバスチャン氏はもう日本を離れているかも知れません。帰国後、  
歯科医として良き人生をお過ごし下さい。どうもありがとうございました。

A. M

## 歌集 心の叫び

西条市の K 病院 301 号室、カーテンの向こうにその人はいた。38 年ぶりの対面だった。目がきらりと光ったようにみえた。食事中だった。目元の涼やかな看護師さんにプリン状の物を口に入れてもらっていた。一日に一回、唯一、口から入る食べ物だというそれを味わっていた。時折苦しそうな顔をする。喉近くに開けた穴から吸引する。驚く私に「これが病気だから」と付添の人は説明してくれる。病名は「筋萎縮性側索硬化症 (ALS)」。

昭和 15 年生まれの彼は NTT 退職後、地元の公民館長に就任して間もなく告知を受けた。4 世代同居を始めた直後でもあった。以来 5 年、亡父を偲んで自己流で始めた短歌を詠み、自らを鞭打ち心を癒し、更に新聞に投稿することで全てを曝し、気力を鼓舞しながら病と闘っている。一日一首を目標に作った歌は既に 2,200 首余りになった。寝たきりになった今は、棒をくわえ 50 音図の文字盤を指し、家族と意志の疎通を図りながら出来上がるその歌は、まさに家族の愛と彼の心の叫びの 31 文字である。

「歌集 心の叫び 田中俊一」が手元に届いたのは今年 2 月の初めだった。

愛媛新聞紙上で偶然彼の短歌が目にとまった。大病を患っている様子にまさかという思いが、本人と確認するまで時間を要した。それ以後、新聞の投稿欄で彼の歌を恐る恐る読みながら、「ああ病状が進んでいるのか、一度お見舞いに行こう、でも、どんなお見舞い出来るのだろう」と迷いに迷っていた。そんな折、歌集が届いた。お孫さんの手になる表紙の字、折々の家族の写真を入れ、お子さん達がまとめられた手作りの作品だった。数々の歌はご両親・奥様をはじめ親族・4 人のお孫さんへの優しく暖かい眼差しに溢れていた。

八十こす父は親族前にして「尊厳死」と書き逝きたまひたり (10.9.28)

病床に踵でなぞりし短歌一首ようやく詠めて共に笑へり (15.4.8)

病む吾は護られ臥すに付き添へる妻や嫁らは疲れしままに (15.11.23)

新聞に弟の歌とわがうたの並みある見れば涙にじみ来 (16.2.8)

頑張れと君は言ひつつ常に詫ぶ癒ゆるなき身にほかの言葉なく (17.3.26)

病室の母の亡骸薄化粧文字盤指して別かれ告げたり (17.9)

剣道をはじめし孫のやうやくに一勝を得しその瞬間を思ふ (16.12.19)

受賞せし孫の綴りは難病にありて歌詠むわれへの思ひ (17.10.31)

気がつくと、1時間 20 分が過ぎていた。人一倍冴えている頭で私たちの話しを聞き、眼で頷き紅潮した顔で声には出ないが「ホー」と相槌を打ってくれる。付き添いの妹さん御夫妻の心温まる明るい応対につい長居をしてしまった。

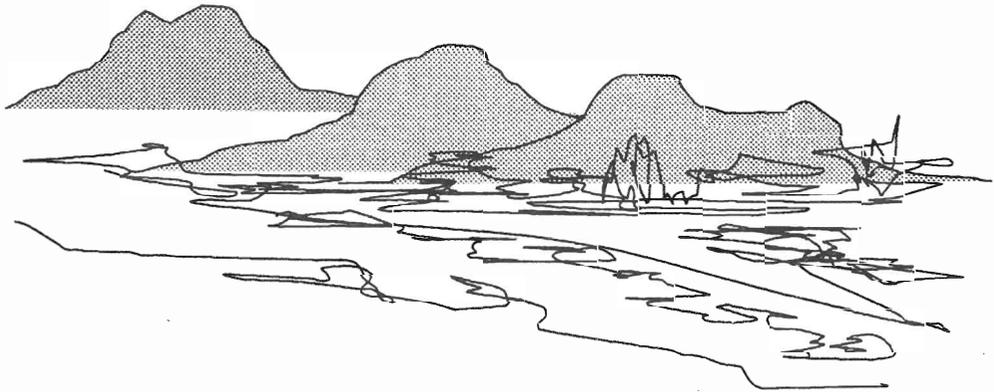
彼とは職場が近く、「やれ春闘だ！原水禁運動だ！」とワイワイガヤガヤ集っていた（妹さんのご主人もそのうちの一人だった）若かった当時を思い、今尚、思考・行動力はその延長線上にあると改めて自分の原点を感じた。

石鎚連峰を背に眼の前には瀬戸の海の開ける道前平野で育った彼は、山を愛し家族を愛し組合活動家として職場の皆からも愛され、また、12年間市会議員として住民の幸せを願っていた。60歳で不治の病におかされ、その思いを行動では表わすことが出来なくなりどんなにか残念なことだろう。でも、家族の核として凜とし、また、愛媛新聞・読売新聞の読者に感動を与え、命を輝かし続けている。

癒ゆるなき病の日々にわが生命感動ありて捨てがてに居り (14.5.14)

内容は違えど、いつか私も通る道、その時にはこうありたいものと思う。ともすれば安きに流される日々、時には背筋を伸ばし、健康に感謝しながらの毎日が、誰かの何かの役に立つことが出来ればこれほど幸せなことはない。

(S・K)



# 市議会

## 就学前の子以降 通院医療費助成 少子化対策で市長

東温市 例(7日)会期を  
二十二日までの十六日間  
と決め、一般会計百十一  
億五千万円▽特別会計百  
九億八千四百四十四万円  
▽企業会計二十六億六千  
二十五万円の二〇〇六年  
度当初予算案や、〇五年  
度一般会計補正予算三億  
三千八百九十四万円(累  
計百十七億六千五百七十  
八万円)など計四十議案  
を一括上程した。

継続審議となっていた  
政府閣僚の靖国神社参拜  
中止を求める意見書など  
二件を否決、障害者雇用  
の改善を求める請願を継  
続審議。ほかに請願三件  
を不採択とした。  
高須賀功市長は所信表  
明で、予算編成について  
「時代や住民のニーズに  
的確に対応しながら『選  
択と集中』による財源の  
重点的な配分に努めた」と  
と説明した。

東温市では3月定例議会より  
「議会だより」を発行することになった。

3月議会一般質問の14日は  
一日中インターネットで傍聴した。  
議長席と発言席しか写らない画面は小さく  
拡大するとぼやけて全然わからず  
音声だけを聞いていた。(s・k)

具体的な施策について  
「安全・安心のまちづく  
りに向け、新消防庁舎建  
設や救助工作車購入など  
消防体制の強化を図る」と  
と提示。福祉面では少子  
化対策として、第二子以  
降の就学前児童(三歳か  
ら六歳まで)の通院医療  
費を助成する子育て支援  
などを挙げた。

### 財調基金から 6億5000万円 一般会計当初予算

東温市 例(9日)定  
五年度一般会計補正予算  
三億三千八百九十四万円  
(累計百十七億六千五百  
七十八万円)など六議案  
を原案可決。「違法伐採

問題への取り組み強化を  
求める意見書」など意見  
書二件、請願三件を委員  
会に付託した。  
議案質疑で、〇六年度  
一般会計当初予算で財政  
調整基金から六億五千万  
円を取り崩すことについ  
て、高須賀功市長は「国  
の三位一体改革、県の補  
助金減額などの厳しい財  
政事情の中ではやむを得  
ない措置。新市建設計画  
に伴う合併特別債事業の  
実施で歳出が増えた。行  
政改革や事業見直しを図  
ることで財政健全化に取  
り組む」と答弁した。  
四月一日以降、標準税  
率から制限税率に変更す  
る法人市民税改定で高須  
賀市長は「増収分は五千  
万円を見込んでいる。自  
主財源を確保し、企業誘  
致などのインフラ整備な  
どに使いたい」と説明。  
指定管理者制度導入に  
向けた東温市内の体育館  
三施設の条例改正につい  
て理事者は「指定管理者  
の業務内容を精査中で、  
委託料などのコストがど  
つなるかはまだ算出して  
いない」と答弁した。

## 特別職退職金 減額検討せず

東温市 例(14日)定  
子(無所属)佐藤寿兼(共  
産)桂浦善吾(無所属)  
山内孝二(同)東一夫(同)  
白戸寧(同)竹村俊一(同)  
大西勉(同)近藤千枝美  
(公明)丸山稔(同)佐  
伯強(共産)永井雅敏(無  
所属)渡部伸二(同)の  
十三氏が一般質問。

千葉県市川市が導入し  
た市民税10%を助成す  
る「納税者が選ぶ市民活  
動団体支援制度」につい  
て、理事者は「少子高齢  
化などに伴いボランティア  
活動が重視される中で

注目している。情報収集  
を進め採用可能か検討す  
る」と前向きな姿勢を示  
した。  
財政難を受け特別職の  
退職金減額への取り組み  
を問われ、高須賀功市長  
は「現在は検討していな  
い」と答弁。有料広告推  
進については「二〇〇六  
年度から市内約一万千戸  
に配布する水道検針表な  
どに掲載し、自主財源確  
保の一助にしたい」と述  
べた。

過疎地域での独身男女  
の交流事業では、佐伯決  
助役は「県が〇六年度予  
算に計上するふるさと体  
験交流事業にかかわる形  
で考えている」と答弁した。

### 給食センターの 用地取得を可決

東温市 例(22日)定  
〇〇六年度一般会計当初  
予算百十一億五千万円な  
ど四十議案と、追加上程  
した市学校給食センター  
建設用地取得(五千四百  
三十一平方メートル、約一億九  
百一十三万円)を原案可  
決。意見書の提出二件を  
可決、請願三件を継続審

査とした。  
議長発議を受け「市議  
会議員定数等調査特別委  
員会」を設置。正副委員  
長に桂浦善吾、大西勉の  
両氏が就任した。同市議  
会の定数は現在二四。〇  
八年十一月の任期満了に  
伴う次回選挙までに削減  
案を検討する。  
また任期満了に伴う人  
権擁護委員に田中克彦氏  
(七)南方、再任の推  
薦に同意した。

# 迫力の対面 758人庄倒

## 明日の神話

芸術家の故岡本太郎氏（一九一〇—一九六〇年）が一九六〇年代にメキシコで制作、三十数年間行方不明になっていた後、昨年七月から東温市内で修復されている巨大壁画「明日の神話」の一般公開が二十五日、同市南方の工場であった。公募で選ばれた県内在住の七百五十八人が修復現場を訪れ、数奇な運命をたどった壁画と対面した。

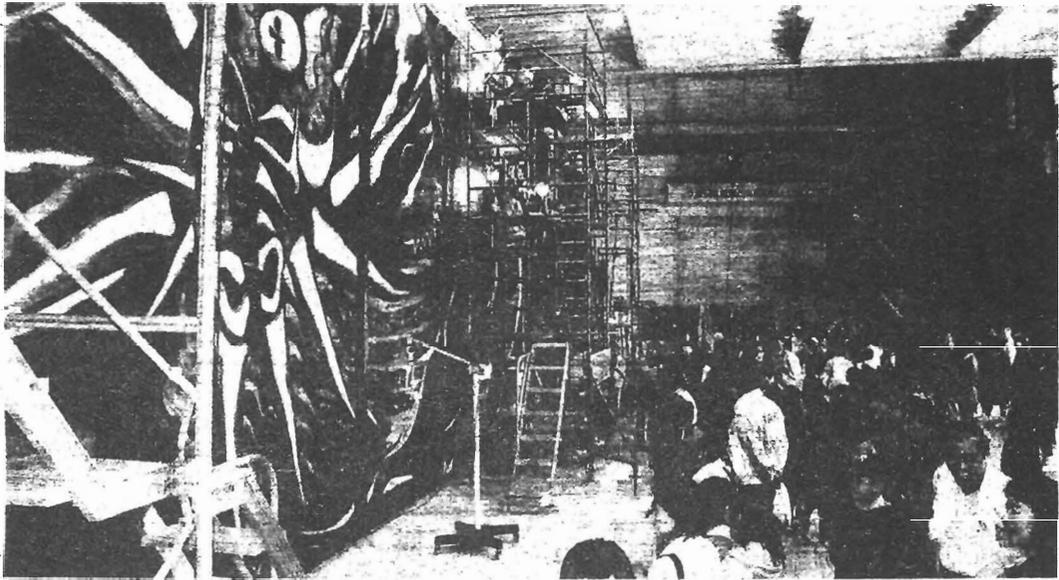
一般公開は四回に分けて実施。応募があった千六百人のうち抽選で選ばれた小学生から大人までの参加者が約三十分ずつ見学した。修復作業を担当している絵画修復家の吉村絵

### 東温で一般公開

美留氏と、「明日の神話」再生プロジェクト事務局ゼネラルプロデューサーの平野晁臣氏が作品解説。参加者は縦五・五メートル、横三十メートルの壁画を思い思いの場所で、じっくり見つめていた。

地元の重信中一年で美術部員の河野美里さんは、「大ききといひ色合といひ、これまでに見たことがない作品。想像以上の迫力に驚いている」とほおを紅潮させながら感想を述べていた。

東温市での一般公開は同日限り。壁画は六月中旬に修復作業を終え、七月から八月にかけて東京・汐留の日本テレビ敷地内で一般公開される。



修復中の「明日の神話」

を見学する公募で選ばれた人たち

東温市南方のサカワ工場

## 明日の神話と対面

たった 20 分前まで「岡本太郎の明日の神話」の前にいた私の胸は熱くドキドキしている状態です。30分も絵の前に佇んでいたせいでしょうか。とても幸福な時間でした。チーフプロデューサー平野氏曰く「シャワーの降りそそいでくる」感じです。一步修復現場に入った瞬間、言葉が出ないほどの存在感で胸に飛び込んできました。絵のことをあれこれ言える知識はありませんが、本物のパワーを全身に感じることに幸福を伝えることしか出来ません。修復中の作品を見ることが出来るのは、今日参加できた人に与えられた幸運です。美しくなった「明日の神話」は今後も見に行くことができます。是非皆さんにも観て貰いたいと思います。(A. M)

# 黒船としての岡本太郎

川崎市岡本太郎美術館  
村田館長が松山で講演



生前の岡本太郎氏の創作活動などについて話す  
村田慶之輔氏

# 挑み続けた多面的存在

東温市内で修復されている巨大壁画「明日の神話」の制作者、故岡本太郎氏（一九二一年〜一九六九年）の大半の作品を所蔵する川崎市岡本太郎美術館（神奈川県川崎市）の村田慶之輔館長の講演「黒船としての岡本太郎」が十九日、松山市堀之内の県美術館南館であった。壁画の修復が愛媛のアート界にどのような影響を与えたかなどを考えようとする特定非営利活動法人（NPO法人）「カコア」（事務局・松山市）が主催した。岡本氏と生前、親交があった村田館長の講演要旨を紹介する。

## 「明日の神話」は「爆発」の成果

太郎さんは若いころから「対極主義」という言葉をよく口にしていました。二つの対立するものを矛盾したまま引き受けて前進するという意味で、芸術は心地よくてはいけない、常に挑まないといけない

なという姿勢の表れ。一九七〇年に開かれた大阪万博の総合ア

ロデューサーを引き受けたのも挑みの姿勢からで、「僕が一番の『反万博論者』だよ」と言っていたほどだ。

生前はテレビに計約二百五十回出演するなど、あれだけ有名になつていながら太郎さんは孤独だった。「芸術家は誤解されなきゃいけない」と本人も言っていた通り、いろいろと誤解されていた。若い人とは大いに討論し、盛んに「作家とは？」などと言っていたが、それ以外の付き合いは美術界よりも思想界の人とだった。あまりにもズバリと言ったため美術館、特に国立館からは敬遠されていた。

「明日の神話」について太郎さんは言葉をほとんど残していない。作品に関するいろいろなことは、秘書で養女となった岡本敏子

さんが記しているが、敏子さんは昨年四月に死去。太郎さんになりきっていた敏子さん以外の人は、作品とは関係のないことしか知らない。今となつては、敏子さんに聞き書きをすべきだったと思っ

ている。多面体の岡本太郎（を理解すること）は一筋縄にはいかないのが現状。これからは臆測や仮説、本からの引用など、実証ではない部分でしか太郎研究ができなくなつた。想像力をめぐらせ、本を頼りに作品や思想に迫るしかなく、そ

れがこれからの一番の問題だ。

「芸術は爆発だ」というセリフをよく発していたが、爆発とは無目的無償に宇宙に向かって純粹にエネルギーをひらくこと。自分の体や精神をすべて外に向けて開放することで、クリエイティブなものが内にもわき上がるという意味だ。

太郎さんは生前「オレには過去はない」と述べていたが、「明日の神話」も過去の原爆の惨禍にとらわれているわけではない。

「明日の神話」も芸術の爆発のたまもの。愛媛のアートシーンにとつて、太郎さんを黒船にするには、彼はあまりにも多面的すぎる。（愛媛のアーティスト）自らが黒船をつくるのが大事なのではないか。

読者からのたより

解決への急ぎ込みは少なからず、ハバっていき  
 「戸端のり」が難しく頂きたい。  
 ×牛淵の「シーム」の再建・岡本壁画の公開  
 等（坊っちゃん劇場も）持産物にして  
 「倉庫の東温入」が欲しいです。  
 ×市議会関係  
 ・公財施設の指定管理者…理事長の説明、  
 議会の受け取りにスレ…初任の否決  
 ・市議会採択率も否決…議会内の党派対立  
 によるもの（ライイ）とか…??  
 ・先日の職員減給・特別職の定額増給と  
 政調費給付…普通は町政危機の  
 みて整合性がいい（しかし、SLK（議会）  
 一応の目録ももっている人々…  
 公表（十分）はかたから（ライイ）とか…?  
 ・親に替えてして 新創の人  
 良いか等を お願い下さい。

## 坊っちゃん劇場 市民で支えよう

組織設立 集客へアイデア

東温・来月オープン

東温市見奈良に四月オ  
 ープンする「坊っちゃん  
 劇場」を盛り上げようと、  
 市民らの支援組織「『坊  
 っちゃん劇場』東温夢倶  
 楽部」が発足し、十七日、  
 同市田窪の市中央公民館  
 で設立総会があった。

倶楽部は、市文化協会  
 やPTA連合会、市観光  
 協会など約八十団体のメ  
 ンバー約百人で構成。集

客など活性化のアイデア  
 を劇場に提供する。具体  
 的には、劇場のPRや観  
 劇呼び掛け▽公演時以外  
 の劇場の開放▽観劇と農  
 業体験をセットにした修  
 学旅行プラン▽劇場内外  
 での地元農産物の販売  
 などの提案を検討してい  
 る。総会には約百人が出  
 席。会長に高須賀功市長  
 を選出し、支援組織の名  
 称を公募で集まった候補  
 の中から決定した。

高須賀会長は「今年  
 は東温市の芸術・文化発展  
 の元年と思っている。会  
 員の皆さんと一緒に劇場  
 を支えていきたい」とあ  
 いさつ。出席者らは一松  
 山市からの集客も進めよ  
 う」などと意見交換し、  
 支援の在り方を考えた。

## 編集後記

子どもさんの進学・就職・転勤、またご家族の引越しやお孫さんの誕生を待ち焦がれ…と、くらしの学習会のみなさんほっとしたり、わくわく？どきどき？したりの春をお過ごしの様です。その後の近況報告の井戸端会議をしましょう。

今回は、出会い塾が印象深かったようで、3人もの方から投稿がありました。いつものK. Oさんからの雑感がなくて、読者として物足りない気がしています。落ち着いたらまたよろしく願います。

桜の季節になりました。そのうちに東温市内は桜でいっぱいになることでしょう。サイクリングでもしながら、次号のために話題を拾ってきましょう。

(S-K)



**くらしの学習会では、随時会員を募集しています。**

活動会員 2,000円/年 購読会員 1,000円/年  
振込先口座番号(郵便局) くらしの学習会 01610-5-21026

問合せ先 TEL/FAX 089-964-6956

E-mail: kt-hayashi@nifty.com